

学校統廃合の影響が現実に 子どもの人口減「負のスパイラル」

厚生労働省の社人研が、5年に一度まとめる「地域別将来推計人口」で、0～14歳の子どもの人口（年少人口）は、鶴岡市は2020年の1万3441人から、50年までには6147人（45・7％）に、半分以上も減る推計です。しかも、過去の推計と比較すると、減少傾向が悪化しています。

一方、自立の三川町は、ゆるやかに改善傾向が進んでいます。

その違いはどこにあるのでしょうか。最も大きな理由は、小学校の統廃合の影響が現実になっていることです。鶴岡市は、平成26年（2014）から5年間で、40あった小学校を26校へ、14校も一気に廃校にしました。

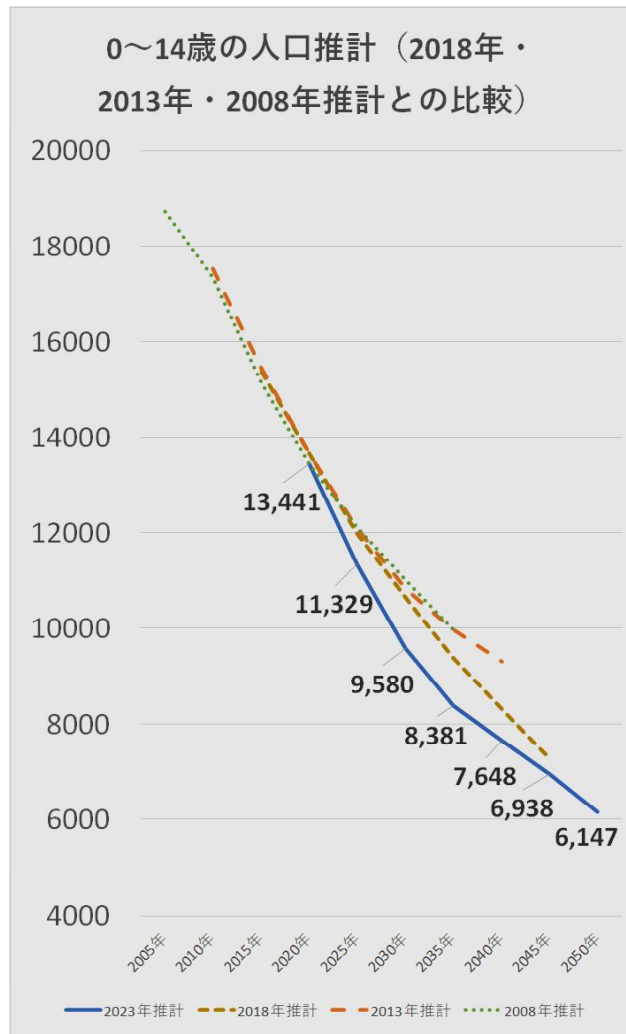
140年の歴史を持つ地域の宝を失い、「ふるさと鶴岡を愛する」教育と言っても、地域から出ていく「負のスパイラル」になっています。

学校統廃合の誤りを認めなければ、少子化を反転させることはできません。

三川町では、蛾眉ニュータウンや神花ニュータウン、新しく桜木地区に37区画を分譲開発し、若者向けの住宅政策が効を奏し、数値に反映しています。

国立社会保障・人口問題研究所 公表データから抜粋

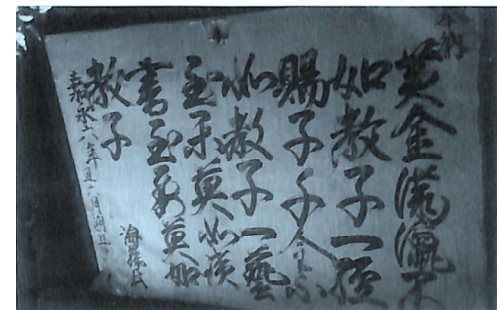
		2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
鶴岡市	2023年推計				13,441	11,329	9,580	8,381	7,648	6,938	6,147
	2018年推計			15,378	13,666	11,981	10,633	9,371	8,296	7,276	
	2013年推計		17,529	15,441	13,668	12,089	10,817	9,965	9,300		
	2008年推計	18,717	17,353	15,143	13,453	12,113	11,002	9,965			
三川町	2023年推計				994	948	889	800	760	712	660
	2018年推計			1,009	988	938	846	758	685	608	
	2015年推計		998	914	788	701	626	573	535		
	2013年推計	1,083	1,005	935	844	777	717	661			



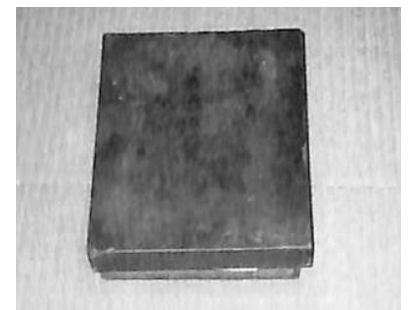
ふるさと賛歌 25

八色木薬師堂にある文化財④

鈴木重雄（八色木）



奉納 嘉永6年



寄進帳箱 元禄16年



医王殿修繕獅子



古文書の数々



大正8年8月奉納獅子踊り

普通の小学校に通わせたい親はどうする

第4回鶴岡市総合計画審議会（令和6年2月6日）の会議資料に、パブコメの意見と計画への反映状況が記載さ

れています（表）。

後期基本計画（案）には、「3学びと交流」の項で、「中学校ブロックごとに小中一貫教育

『R5.10.26 第3回総合計画審議会での意見と後期基本計画（案）への反映状況』から抜粋

意見（要約）	総合計画後期基本計画への反映状況
小中一貫校は、小学校と中学校の段差をなくし、義務教育9年間の一貫した学びと説明されていますが、小学校から中学校へ、「成長の飛躍」、「やり直し」ができない心配もあります。	今回の総合計画では、小中学校教育の質的向上に目を向け、全市単位での「小中一貫教育」の推進に焦点を当てた記載としており、「小中一貫校の設置」には、言及していないところ。
小中一貫校の義務教育学校は、第2次安倍政権が教育再生実行会議で進めた政策で、学校の統廃合と維持管理費の削減が目的です。	本市の小中一貫教育は、一律に小中一貫校を設置するのではなく、現在の中学校区で、地域実情を勘案し、学校、保護者、地域の方々の声を丁寧に聞きながら進めるもの。仮に、小中一貫校を設置する場合も、「成長の飛躍が失われること」や「やり直しができない」といった課題については、県内外の先進校の実践に学び、解決策を見出すことは十分に可能である考える。
義務教育学校では、「普通の小学校」に入りたい子どもは、地域から出て行かざるを得ず、憲法第26条の「教育の機会均等」に反することになります。	また、どのような形態であれ、国が示す設置基準に基づいて、小学校の過程を提供できる学校を設置するわけなので、教育の機会均等を奪うことには当たらないと考える。

を導入し、義務教育9年間を通して『ふるさと鶴岡を愛し、いのち輝く人間の育成』を目指します。」と明記しています。

「懸念もある」

パブコメに対する回答は、「課題の解決策を見いだすことは十分に可能」としていますが、現場の教職員の意見を聞かずに、トップダウンで決めた方針であり、現場まかせで回答者は責任を負えません。

「教育の機会均等に反する」との答えは、「国の設置基準に基づく学校なので、・・・奪うことには当たらない」と述べ、普通の小学校に通わせたいと願う親はどうすればいいのか、分かりません。

平成26年12月22日の中教審答申では、「教育の機会均等との関係」（28頁）の項目を上げ、「懸念もある」と認めています。

しかし、「小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領」の教育内容で行う学校種だから「想定されていない」と説明しているのみです。

小学校の卒業式と中学校の入学式は、人生一度きりで、「奪うこと」になりませんか？

先の本間家については、前記の記事が掲載される以前に次のようにも報じられていた。酒田の本間家は誰知らぬ者なき日本屈指の大金持なれども、ただ

資産を固く守るだけなので、世に守銭奴といわれている。ところが今度は大奮発し、巡幸の酒田町の諸人費を皆一手に引受けられるという。

この記事は本間家の財政支援を噂段階で報じたものだが、ここでは本間家を守銭奴とのしり、また東村山郡漆山村の豪農半澤久次郎の記事が載る。

今度の巡幸で自宅前をお通りのとき、自宅に立寄られることを、其筋へ出願し了解のう



世の中乱れる!?

自民党の裏金調査って、調べたふりしたんだな。国民の疑問に全然心えていない。

▲こんな犯罪（選挙に使えば公選法違反・私的に使えば脱税）にもなる事がいつから始まったのか不明のままだ。引つかれば議員にはなれなかったんだ。だから、金は何に使ったんだ。出された額を信用しろってガ。

▲それぞれの言い訳って、自分に責任がないって事だけで、コンジヨ悪リ。責任があるのは秘書ではなく、議員本人だろうが。そんな自覚も無くバッジを付けているのかい。民間だったら、責任者がとくに責任取って辞任しているだろうが。▲それでも、首相の言うそれぞれがやれと言っている説明責任ってどうしんだ。党の総裁

え、自宅を修繕し立派に落成した。

その費用の内千円だけを補助費として郡内の戸数へ割付けたといううわさが流れている。



（酒田本間家別邸・現美術館）

として先ず自分がやれや。自分の会計責任者が起訴されたんじゃないの。彼の責任はそれとして、自分の金なんだから、何時からこうなって、金はこう使ったと説明セーヤ。

▲またも下がった内閣支持率。まだ10%超えつたながや・という声もあるがサ。どんな人たちが支持しているんだろうかネ。信なくば立たず・と言いながら辞めないんだよナ。

▲こっちも、これで世の中通るんだが。収支ってものは「数字」でするものでしょ。それが漢字で「不明」と書いていたよ。これを国会の先生がやり始めたから、税金の申告も漢字でやって見つがノ。

▲ある時、天候不順も政権が悪いからだと言つて噛みつかれたことがあったが、国会議員がこうもデタラメでは世の中乱れるよ。もう乱れっだが。（石川）

東田川史跡物語

豪商・豪農への住民の不信感

青山 崇

ところが、こうした豪商・豪農への人々の不信感が垣間見えることもあった。